竹馬会情報紙
ホームページアドレス
http://chikubakai.com

はずみ
CHIKUBAKAI

竹馬会キャラクター
なべムシ君

泥田バレーボール最終回を決定

３月31日（日）満開の桜の下で25年度の総会と花見を行いました。20名が参加し、桜はこれまでで最高の見ごろで楽しい花見が出来ました。

総会では25年目となる泥田バレーを今年で最後とすることを満場一致で決定しました。

４月６日（土）には、最後の大会の案内状の封入作業を行いました。また、３月９日には報道発表を行い、早速ＮＨＫがニュースで取り上げてくれました。新聞各社も社会面で扱ってくれています。

25年目の最後の大会をみんなの力を結集し、有終の美で飾りましょう！

４月１４日(日)、今年最初の河川敷の草刈り

新入会員紹介

川野　貴弘さん

松尾　真吾さん

よろしくお願いします

泥田バレー最終回　新聞掲載第１弾　大分合同新聞

6月2日、中津・三光の泥田バレー

25回目"元祖"に幕

有終「盛り上げる」

主催者高齢化「体力の限界」

田植え前の田んぼに泥だらけになりながらボールを追う中津市三光名物の「泥田バレーボール大会」が今年の25回大会で、終止符を打つ。全国で同様の大会が催される先駆けとなったが、主催してきた地域おこしグループ「竹馬会」の高齢化が進んだため。会員たちは「残された力を振り絞り、最後の大会を大いに盛り上げたい」と話している。

「ここまで続くとは思ってもいなかった」と相良卓紀事務局長（写真は昨年の大会）

佐賀一彦会長

出場者のみならず、バーベキューで盛り上がる応援団、シャッターチャンスを狙う写真愛好家ら、多くの人が集まる地域活性化のイベントとして定着。1988年に第5回大会を終了した「体力の限界を感じ始めた」と区切りをつけることにした。会場となった水田が荒れ、農家に迷惑が掛かることも一因だった。

最終回には、大会を通して交流が始まった広島県呉市、島根県平田市（現出雲市）の関係者らが訪れ、会員の労をねぎらう。佐賀一彦会長（56）は「残念だが、みんなで相談し、今後も地域のためにできることに取り組んでいきたい」と話している。

×　×　×

最終回は6月2日に開催。78チームを募集する。1チーム10人（中学生以上）まで登録可能で、複数チームへの重複登録はできない。2005年の市町村合併時にも打ち切りを検討したが、「参加チームがなくなるまで、自分たちからやめると言うまい」と続けてきた。現在、会員は30歳から80歳までの男女70人、50代以上が大半で「体力の限界を感じ始めた」と区切りをつけることにした。会場となった水田が荒れ、農家に迷惑が掛かることも一因だった。

（竹馬会ホームページで入手可能）に必要事項を記入し、ファクス（0979-43-2537）かメール（hikubakai@nk.oct.ne.jp）で。5月3日のノースFMテレビ番組で抽選し、結果を知らせる。

壱岐市で第１回泥田バレーボール大会開催

竹馬会の泥田バレーは最後を迎えますが、長崎県壱岐市では今年、第1回泥田バレーボール大会が開催されます。竹馬会の第22回、第24回大会に出場した「壱岐レディース」が仕掛けました。この大会を盛り上げようと応援ツアーを計画しました。

■日　時:5月18･19日（土･日）1泊2日
　出発⇒18日(土)午前７時　帰宅⇒19日(日)午後９時
■参加費:1人 15,000 円(1泊２食、昼食２回)
■交通費:マイクロバス、高速代、フェリー代等は、竹馬会会計で支出の予定です。

◆参加希望者は４月26日(金)までに事務局(相良)へ

福島市で開催された「ひまわり甲子園」への竹馬会の出場が読売新聞で紹介されました。

29 地　大分

福島でヒマワリ活動報告

中津の住民団体、絆深める

福島県のNPOからヒマワリの種を購入して育て、採取した種を送り返す活動に中津市三光佐知地区の住民が取り組んでいる。福島市で3月に開かれた「第1回ひまわり甲子園」に九州代表として参加。ヒマワリを通じて、被災地との絆を深めている。

活動の中心となっているのは地域おこしグループ竹馬会（佐賀一彦会長、70人）。2011年3月の東日本大震災後、同県の若手経営者らが、NPO法人チームふくしま（半田真仁理事長）を結成し「福島ひまわりの里親プロジェクト」を始めた。外国から輸入した種を、被災地の知的障害者たちが袋詰めして販売。購入者はNPOによると、12年度は全国約1万4000の団体・個人の計10万人以上がヒマワリの里親になり、約5トンの種が寄せられた。福島県内約9000か所に寄贈し、花を咲かせたという。

福島市で活動状況を発表する相良さん（相良さん提供）

相良さんは「中津は昨年7月の豪雨で大きな被害を受けた。被災地の気持ちを忘れずにヒマワリを育てていく」と気持ちを新たにしている。

席した。敬老会や婦人会、子供会などの100人以上が休耕田や畑を使って栽培。昨年は6000本を育て、約50キロの種を送ったことを報告したという。

相良さんは、中津は昨年7月の豪雨で大きな被害を受けた。被災地の気持ちを忘れずにヒマワリを育てていく」と気持ちを新たにしている。

NPOによると、12年度は全国約1万4000の団体・個人の計10万人以上がヒマワリの里親になり、約5トンの種が寄せられた。福島県内約9000か所に寄贈し、花を咲かせたという。

各地で栽培し、種を送り返す。集まった種は岡県内に植えられ、福島と全国をつなぐシンボルになっている。

ヒマワリ甲子園には、京都、静岡、広島などの5団体が招かれた。三光佐知地区からは、竹馬会事務局長の相良卓紀さん（57）らが出

今後の予定

■八面山平和マラソン大会の野菜切り
　４月２８日（日）午後８時　相良旧宅集合
■八面山平和マラソン大会
　４月２９日（月）午前８時　佐知庵集合
■泥田バレーボール大会抽選会
　５月　３日（金）午後７時～午後９時　ノースFM生放送
■福島ひまわり里親プロジェクト　ひまわりの種まき
　５月１２日（日）午前８時３０分　活性化ｾﾝﾀｰ集合
■壱岐市　第１回泥田バレーボール大会
　５月１８・１９日（土・日）詳細は参加者に通知
■泥田バレーボール大会　会場準備
　５月２５・２６日（土・日）午前８時３０分　佐知庵